

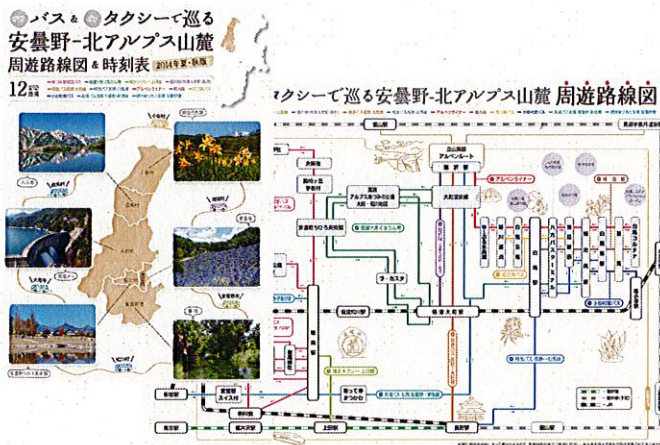
### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	特急バス「アルペンライナー」
事業主体 (連絡先)	北アルプス三市村観光連絡会 (白馬村役場観光課 TEL 0261-85-0722)
事業区分	(6)ア特色ある観光地づくり、(6)オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,050,600円 (うち支援金1,917,000円)

### 事業内容

黒部ダム・立山黒部アルペンルート、白馬Alps花三昧など、地点ごとに誘客強化に取り組み、成果もあらわれてきているものの、こうした地点ごとに取り組みが広域観光の推進につながっていない状況にある。これは、当地域の観光資源が広く分散しているにもかかわらず、地域内交通(二次交通)の整備が遅れているためである。

本事業では、地点ごとに訪れる観光客の広域流動を促すことを目的に、特急バス「アルペンライナー」を7月12日(土)から8月24日(日)まで運行した。あわせて、利用者アンケート調査により利用者の傾向や利便性を把握した。



### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①利用者数は目標値を大きく下回る

	平成25年	平成26年	目標値
7月	100人	173人	150人
8月	404人	325人	650人
計	504人	498人	800人

②期間中の8月11日から16日まで利用者アンケート調査を実施、・梅池高原や白馬八方、白馬駅前利用が多いこと、利用者数の大半が登山者であること、自家用車が主な移動手段であってもアルペンライナーが利用されていること、主な情報の入手先はWEBであること、4人に3人が利便性を高く評価していること等がわかった

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

利用者アンケート調査結果に基づく利便性の向上、利用者層への情報提供を充実することで、利用者数の増加を目指す。これにより運行に必要な安定的な財源(運賃収入)を確保する。

### 【目標・ねらい】

- ①利用者数の目標値：800人
- ②利用者アンケート調査による旅行者の傾向、アルペンライナーの利便性等の把握

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

利用者数は目標値を大きく下回ったものの、期間を通して天候不順が続いたことから主要観光地の利用者が大きく落ち込む中、アルペンライナー利用者がほぼ前年並みであったことは、その利便性が評価された結果といえる。アルペンライナーの利便性が高く評価されていることは、利用者アンケート調査の結果からもうかがえる。